

5 救急蘇生を行う時は

子どもの呼吸や心臓の動きが悪くなり、呼吸停止や心肺停止になったときはただちに救急蘇生【胸骨圧迫（心臓マッサージ）と人工呼吸】が必要です。

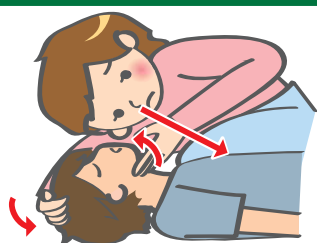
大声で呼びかけても反応がなく、ぐったりしている

応援を呼ぶ

119番通報

AED（電気ショックによる救命装置）依頼

気道を確保し、呼吸状態を把握する



- ・胸が動いているか
- ・呼吸する音が聞こえるか
- ・はく息を感じるか

呼吸している

安静にし、
救急車の
到着を待つ

図 1

呼吸していないか
呼吸しているかどうか判断できない

胸骨圧迫（心臓マッサージ）を開始

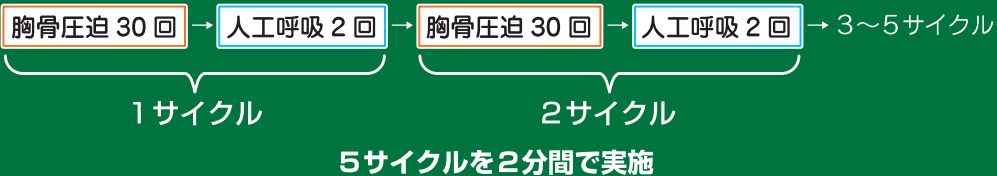
図 2

- 強く【成人では 5 ～ 6cm の深さ。小児では胸の厚さの約 1/3】
- 早く【100 ～ 120 回 / 分のテンポで】
- 絶え間なく【中断は最小限にする】
- 胸骨圧迫 30 回ごとに 2 回人工呼吸を加える

人工呼吸を開始

図 3

- 乳 児 口と鼻を大人の口でおおい、息をふきこむ。胸が膨らむことを確認
- 1 歳以上 おでこに当てた手の指で鼻をつまみ、口から息をふきこむ（1 秒程度）



AED が到着したら

AED を使用 必要であれば AED 使用をくり返す

図 4

救急隊に引き継ぐまで、心肺蘇生を絶え間なく続ける。
咳き込みや払いのける動作があれば中止する。

図2 胸骨圧迫（心臓マッサージ）



図3 人工呼吸

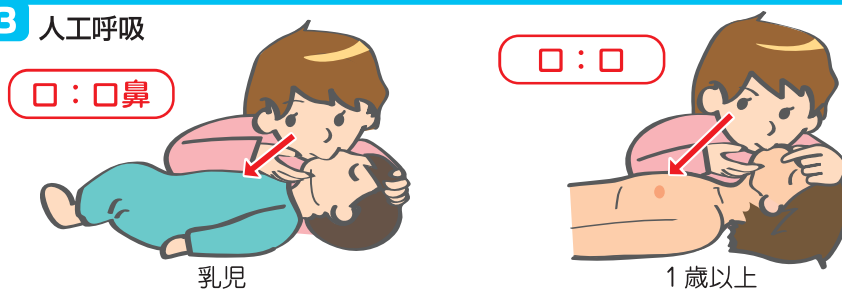


図4 AED の使用方法



AED の使用（電源を入れ、電極パッド（小児用パッドがあれば、これを使用）を装着）

心電図の解析 機械が自動で解析。電気ショックは必要か？

必要あり ↓

↓ 必要なし

電気ショック1回
その後直ちに胸骨圧迫と人工呼吸を再開（5サイクル）

直ちに胸骨圧迫と人工呼吸を再開
（5サイクル）

※消防署では、心肺蘇生法、AED 使用方法の救命講習会を行っています。
詳しくは、最寄の消防署までお問い合わせください。

※このガイドブックの内容は、あくまでも目安であり、一般的な内容となっています。

「子どもの救急・急病ガイドブック」

平成28年7月 初版 発行 令和5年4月 改訂
平成31年4月 改訂 令和7年4月 改訂
令和2年4月 改訂 令和8年4月 改訂

監修 長野市医師会 更級医師会 長野市

編集 長野市小児科医会

発行 長野市